

突然死・事故死の原因はタミフル!

タミフルは原因でないといわれるけど、本当?



タミフルは睡眠剤や麻酔剤・アルコールに似た作用があります。脳を麻痺させると呼吸が止まって突然死します。タミフル服用後の突然死合計50人の原因はこのためです。

そして

異常行動を起こします。

タミフル服用後、異常行動など重い精神神経症状が635人報告されています。
8人が異常行動後に事故死しています。
厚生労働省の調査でも、タミフル1回目服用から数時間では、飲まない人よりも、異常行動が4~5倍(幻覚は12倍)起こりやすくなっていました。

精神神経症状が1週間以上、2~3か月も長引くことや、肺炎の悪化、敗血症を合併して死亡すること、出血や糖尿病の悪化など生じることがわかってきました。

タミフルは "インフルエンザ脳症"を 予防しません

「脳症が怖い」からタミフルを飲んでおきたい、と思いませんか? もしそう思っているのなら間違いです。専門家も、「タミフルはインフルエンザ脳症を予防しない」と書いています。

参照:横田俊平(横浜市大医小児科教授) 小児科(2004),Vol36(12):p1962



"インフルエンザ脳症"と呼ばれている大部分が、何らかの薬剤を使っています。全く何も薬剤を使わず"インフルエンザ脳症"で死亡したという報告はありません。



ふつうのインフルエンザは自然に治まる軽い感染症です。タミフルは、症状、特に熱が治まるのを、ほんの1日程度早めるだけです。